みつわ台総合病院における看護職員負担軽減への取り組み：令和7年度

<目的>

急性期医療を担う当院の、看護職員が心身ともに健康で職務を遂行することができるよう、労働環境改善に取り組み、質の高い看護サービスの提供を推進することを目的とする

～ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）に向けて～

1. 勤務状況に関すること

- ・勤務間隔、夜勤回数、連続勤務日数、休日の調整を図り、仕事と生活の調和のとれた勤務体制を構築する
- ・休憩時間の確保に努め、適度な休息を取ることで、作業効率の向上及び、医療事故防止に努める
- ・勤務間の連絡を密にすると共に、互いに協力しあい、時間外労働の削減をめざす

2. 業務整理に関すること

- ・業務改善委員会、医療安全委員会、感染対策委員会等の各種委員会やWGと協働し、業務内容の見直し、業務整理の推進を図る
- ・IT化を駆使し、作業効率の向上を図ると共に、運用上の課題については適時審議し、より良い運用をめざす

3. 感染対策に関すること

- ・院内方針に基づき、感染防止対策の徹底に取り組む

4. 教育体制に関すること

- ・医療チームの一員としての自覚を持ち、専門的な知識や技術を習得し、安全・安心な医療の提供に努める
- ・各段階別に合わせた実践能力の習得に向け、研修会への積極的な参加など、自己研鑽に努め、看護実践能力の向上を図る

5. 多職種との協働

- ・各専門職種と協働し、業務分担、役割分担を行いより充実したベッドサイドケアに努める